

解説 06

動力配電盤



<動力配電盤 - 前面パネル>

- ・監視用の電圧計 (V)、電流計 (A)
- ・配電盤から、各動力制御盤3面に対して動力幹線は、7系統で電源供給しています。
- ・配線用遮断器は、過負荷、短絡に対して幹線ケーブルを保護します。
- ・電気方式：三相3線式、単一母線配電系統
- ・幹線方式：枝状配電方式
各制御盤の負荷の容量を1系統で供給

・幹線サイズは

- ① 負荷電流 (A)
- ② 電線の許容電流 (A)
- ③ 電圧降下：設計負荷電流によるリアクタンスおよび力率を考慮したケーブルのインピーダンス (Ω/Km) の値を用いた計算式による。
ケーブル巨長が短い場合は、簡略電圧降下式でよいとされています。
- ④ 遮断器定格電流 (A)

これらの検討により決定します。

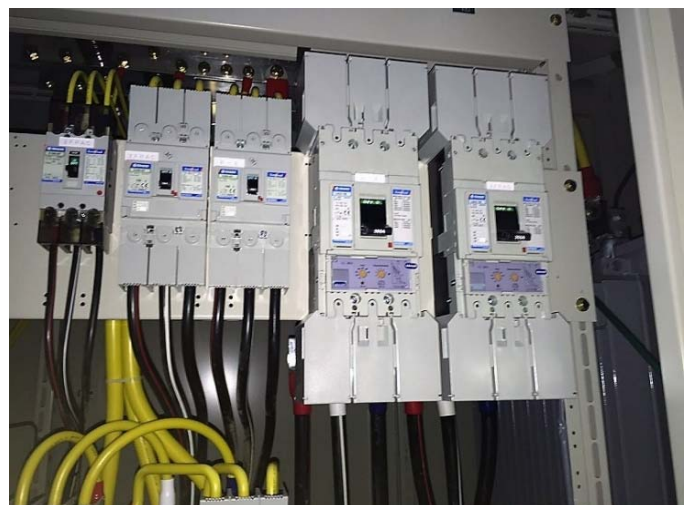
・一般的には、施工性、経済性から

幹線電流は、300 (A)

または

幹線ケーブルサイズ 150mm^2 以内に分割した方が望ましい。

と言われていますが難しいものです。



<配線用遮断器>